



関中央ロータリークラブ

2017-2018 WEEKLY REPORT

例会日 毎週木曜日 18時30分

例会場 関観光ホテル（関市池尻91-2）

事務局 関市西本郷通5-2-53 TEL(0575)24-7332 FAX(0575)23-5278

会長 波多野 好文 **副会長** 佐藤 忍 **幹事** 長谷川 修 **クラブ会報委員長** 大藪 太

2017～2018年度国際ロータリー

イアン H.S. ライズリー会長



2017～2018年度関中央ロータリークラブ会長テーマ

「親睦からのロータリー」

本日のプログラム 第1911回例会 2017年8月31日（木）

卓話 養徳・喜の家・岐阜市御望ホーム ㈱美谷喜 代表取締役 井上 和寛様

テーマ 「介護老人施設の現状と将来」 / 担当 副会長・クラブ奉仕委員会

前例会の記録

第1910回 2017年8月22日（火）

ガバナー公式訪問

3RC合同例会（美濃RC・関RC・関中央RC）

/ 担当 会長・幹事

*ガバナー公式訪問次第 於：関観光ホテル

・点鐘

・国歌斉唱 「君が代」

・ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱

・お客様の紹介

国際ロータリー第2630地区 ガバナー

田山 雅敏 様（上野東RC）

国際ロータリー第2630地区 幹事

中尾 彰克 様（上野東RC）

東海北陸道グループガバナー補佐

伊佐地 金嗣 様（関中央RC）

国際ロータリー第2630地区

ロータリー財団部門補助金小委員会

奨学金・学友担当 副委員長

井上 重敏 様（美濃RC）

国際ロータリー第2630地区

ロータリー財団部門補助金小委員会

地区補助金担当 副委員長

堀部 哲夫 様（関RC）

・会長挨拶

・委員会報告 美濃RC、関RC、関中央RC

・幹事報告 美濃RC、関RC、関中央RC

・地区大会のご案内

・本日のプログラム 卓話 ガバナー 田山雅敏様

・お礼のことば 閉会挨拶

・点鐘

*会長あいさつ

関RC会長 後藤 信介様

本日はガバナー公式訪問、そして

美濃RC、関中央RC、関RCの

3クラブ合同例会であります。3

クラブを代表し、ご挨拶させていただきます。国際

ロータリー第2630地区ガバナー 田山雅敏様、

同じく地区幹事、中尾彰克様、東海北陸道グループ

ガバナー補佐、伊佐地金嗣様、地区ロータリー財団



部門、補助金小委員会、奨学金・学友担当、副委員長 井上重敏様、同じく地区補助金担当、副委員長、堀部哲夫様、ようこそ世界農業遺産、清流長良川の地に大変お忙しい中おいでを頂き有難う御座います。さて、RI 会長 イアン・ライズリー氏は、ROTARY: MAKING A DIFFERENCE ロータリー: 変化をもたらす、と言われていました。田山ガバナーは「未来を創造しよう」10年後のロータリーは・・・の活動方針テーマを掲げてみえます。このテーマに沿った事業展開を各クラブ進めているわけですが、あるクラブでは三年前には50～60人のメンバーが3年で100人を超える会員増強を果たしたクラブもありますし、近隣クラブの合併を選択したクラブもあります。今ロータリーは大きく変化していると思います。現代社会では人手不足が大きな問題ですが、AI 知能の発達で10年後に無くなる職業が小売店販売員、一般事務、運転手、受付係、といった職業だそうです。少し前では考えられないことが現実に変化しています。私はこの変化という言葉を聞くと何時も思い出しますが、5年程前の関ロータリーの会長が話しをされましたし、ご存じの方もみえると思いますが、室町時代後期に京都で創業し、500年間続いている会社が有ります。皆さんもよくご存じの和菓子の老舗「虎屋」さんです。虎屋さんの社長は、500年間続けられた秘訣をこう言われています。「変えるべきものと変えてはならないもの」をはっきりと区分してきたことだそうです。虎屋さんの「変えるべきものと変えてはならないもの」とは、何だったのでしょか？ 私たちは、変えていけないものと言え、伝統の「味」と直ぐに思いますが、実は「味」というのは、時代やライフスタイルによって変化するもので、それは、変えるべきもののだそうです。(今、店で売られている虎屋の羊羹は昔と味が違うそうです) では変えてはならないもの、とは何なのでしょうか？それはお客様に対する「感謝の心」だそうです。虎屋さんにとってお客様はまさに生命線で、確かにどんなに美味しい和菓子を作っても、どんなに立派なお店を作ってもお客様が買ってくれなければ500年も続けることはできません。ロータリーもどんどん変化していきます。「感謝

の心」をもって活動をしていきたいと思っています。

*卓 話

国際ロータリー第 2630 地区

ガバナー 田山雅敏様



今日は美濃RC、関RC、関中央RCの皆様とご一緒できますことを大変うれしく思います。この地区は76クラブありますが、約3分の1を回らせて頂きました。

ロータリークラブも、変化する時だと言われておりますが、色々なクラブを訪問しておりますと、言葉としてだけでなく、非常に実感として感じているところでもあります。意外に思われるかもしれませんが、地域の中核的なクラブは女性会員を入れたり、あるいは若返りを図ったりして、クラブが活性化しつつあります。私の地元クラブでは一番古いクラブが上野クラブです。このクラブが6月末までは会員の平均年齢が70才を超えておりましたが、女性を含めて5名の会員が増えました。財団の年次寄附をして頂いたものは3年後の事業に、またグローバル補助金という事業も定着してきました。これは大きいプロジェクトです。人数をある程度確保しなければやっていけないという危機感が、地域の中核クラブのシニアの方を中心に意識改革がされつつあると思われれます。

日本のロータリーは約90%のクラブがお昼に例会をしています。しかし、世界的にみると約65%のクラブが夜に例会をしています。日本の会員は平均65才ぐらいですが、他の国では10才以上若く、若いということもあって、昼は忙しく、例会の時間一つとってもそれだけ違います。

今年1月にガバナーになるための研修をアメリカのサンディエゴで受けてきました。世界では520～530地区、日本は33地区です。50地区あると1割ぐらいのイメージになりますが、日本のウエイトがだんだん減ってきて7%ぐらいになってきています。会員数もそのぐらいになってきています。国連の負担金も長い間1割ぐらいのイメージでしたが、これも少し落ちています。ロータリーは先行して落ちています。日本の地位が落ちてくると、RIの理事になる人も少なくなり、規定審議会などの影響力も行

使できなくなります。日本に今 3 つのゾーンがあります。我々は第 2 ゾーンですが、第 3 ゾーンの一部が外国と一緒に予定で、これからゾーンのミーティングをすると英語がでてくるような話になるかもしれません。ロータリーの会員の数が減ると世界でのウエイトも変わってくるわけです。

ガバナーエレクトの 500 何十人かが一斉に研修を受けましたが、女性ガバナーエレクトは 100 人以上いらっしゃいました。日本でのロータリーの女性会員は 5%未満です。三重県の南の方では女性会員が急速に増えています。鳥羽と志摩の二つのクラブの会長は女性です。岐阜でも女性会員の方がたくさんいらっしゃるクラブがあるのも承知しております。日本での女性社長の占める割合は 11%ぐらいです。いかに、女性ロータリアンの数をどんどん開拓しなければいけないか、また素晴らしい方がたくさんいらっしゃるのではないかと思います。私のクラブでも一人だと入りにくい雰囲気を感じますので、お二人で入って頂いたら気持ちよく入って頂けるのではないかとそういった事を含めて色々やっていきたいと思ひます。

私が研修に行く前のイメージはロータリーの発祥はアメリカですので、当然、アメリカが中心のようなイメージで行きましたが、全然違いました。新興国のブラジルやインド、そういう国から来られてみえるガバナーのお話は非常に勢いを感じました。アメリカのロータリーは日本よりも高齢化し、シニアの人が多くなっています。先進国はあまり元気がない、新興国は非常に元気があるという中でロータリーの新しい動きが出てきています。

イアン H. S. ライズリー RI 会長が「IT IS THE TIME TO MAKE A DIFFERENCE」とおっしゃられました。「ディファレンス」と聞いた時に「違い」とか「相違」とかそういうニュアンスで習ったと思ひますが、同時通訳では「変化をもたらす」と通訳されました。RI 会長方針を聞いた時に、今年度は少し違ったことをやろうというニュアンスで受け取ったのですが違いました。辞書を見ても確か「変化」という意味もあり「変化をもたらす」とはどういう事なの

かと思ひましたが、その後の話を聞いて納得しました。ロータリーという力で地域に貢献しないとけない、地域を良い方向へ変えていこうというニュアンスのお話しでした。その前提として、それぞれロータリアンが、さらに自分を切磋琢磨し、いい意味で変化をもたらし、それを周りのロータリアンに話し、クラブ全体に変化をもたらし、それがひいては奉仕活動を通して地域に変化をもたらす、それが最高ではないかという話しでした。そういう中でロータリーを進めていきたいと思いますということが今年度の方針です。

また、規定審議会で、クラブの自主性を持ってもらった方がロータリー活動を活発に出来るのではないか、ロータリーとしての事業活動が良き展開をはかれているという結果が出たということで緩和政策が決まりました。今のままで老・壮・青そろっている、会員増強も奉仕活動もできるというのであれば変える必要はありません。しかし、多くのクラブでは会員増強に苦しんでいます。会員増強するにあたって、少しでも入会しやすい環境を用意できるのであれば、それが会員の総意であるならば、直しても構わないということです。クラブの状況により違うと思ひますので、どうするかは各クラブで考えて頂きたいと思ひます。これは一年ですぐ出来ることではありません。問題提起しながら、各クラブで会員増強にお努め頂き、奉仕活動の中で問題があるならば、もしそれが年齢構成の問題であるならば、若い人も必要でしょうし、CLP についてもご理解頂いていると思ひます。やはり一年一年、人はかわりますが、事業としてはある程度継続性が必要であるということの認識で動いているわけです。今、日本全体の中では女性会員が非常な勢いで増えつつあり、ますます女性の活躍が増えてきます。ご配慮頂いてクラブの運営を考えて頂き、理事会で問題提起して頂き、どうあるべきか真剣に考えて頂きたいと思ひます。私は 10 年経った時の事を言っていますが、10 年後クラブの平均年齢が何歳ぐらいで、どういう活動ができるのか、地域に本当に役立つ活動できるのか考えて頂きたいと思ひます。

クラブ目標として、会長賞に挑戦して下さいと大

きくあげています。これを実行していけば非常に強いクラブ、充実したロータリーライフを得られるのではないかと思います。ロータリーでやる気のある方は頭に叩き込んで頂きたいと思います。それ以上のことはないと思います。目標にしてぜひ取り組んで頂きたいと思います。

クラブ目標：R I 会長賞に挑戦しよう！

1. 会員増強によるクラブの更なる活性化
2. 地域への貢献の在り方
3. 財団への寄附（会員の意識向上）
4. 10年後のクラブは？（クラブ運営を考える）
5. 公共イメージと認知度をあげる

この一年間、ご自身も含めてもう一度ロータリーを見直して新しい未来のロータリーに繋げる、これは皆さんの責務だと思いますし、私自身もそう思っております。ご協力を得ましてロータリー活動を素晴らしいものにしていきたいと思います。

***お礼の言葉と閉会の挨拶**

関中央RC 波多野好文会長

本日は3クラブの皆様、お疲れ様でした。また田山雅敏ガバナー様、卓話をありがとうございました。中尾地区幹事様、伊佐地ガバナー補佐様、今後とも宜しくご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



***出席委員会**

会員数29名、本日の出席18名です。

***ニコボックス委員会**

- ・会長・副会長・幹事

田山ガバナー様、中尾地区幹事様、ようこそ関へお越し下さいました。田山様、後ほど卓話よろしくお願い致します。

- ・小澤重忠君

国際ロータリー第2630地区ガバナー 田山雅敏様のご来場を歓迎して。

18名のご投函ありがとうございました。

***幹事報告**

8月24日味の孫六にてIM実行委員会を行います。

***メイクアップ報告**

8月11,12日IA年次大会 波多野好文君、吉田和也君

<次例会の案内>

第1912回 2017年9月7日（木）

親睦バーベキュー例会／担当 親睦活動委員会